

ヤマキ花卉園



消費者に信頼される生産者に

～産地紹介～

千葉県館山市でハウス面積2900坪、家族5人とパート3人でひまわりとストックを栽培しています。

ヤマキ花卉園の由来は、祖父の時代から野菜を出荷するときに屋号が「喜平（キヘイ）」ということもあり「ヤマキ」として出荷していたので、息子が就農し先の時代のことを考え、さらに共撰から個撰として活動していくので心機一転頑張っていくために山田滋の名前からヤマキ花卉園として活動していくことに決めました。

栽培している土地は、平砂浦海岸に近いこともあり長い年月をかけ海風によって砂が集積したため、砂地の圃場になります。

砂地の圃場はpHが高く、肥料もちが悪く、水はけが良く地下水が低いという特徴があります。



～品目紹介～

ひまわりは砂地の特徴である肥料もちの悪さ、水はけの良さを利用し極限まで水・肥料を減らすことによって茎が白くなり、小葉で茎が硬く、花が上向きのみまわりを作ることができます。

さらに温暖な気候を生かし3月上旬から9月下旬までサンリッチシリーズを中心に八重など7品種70万本出荷しています。



ストックはボリュームを出すために、肥料を多く使います。そのため、残肥を少なくするひまわりとの両立が難しかったですが、最近ではひまわりの栽培方法が確立でき、ストックの肥料を多くすることができ始めているので、より良いストックを作れるようにこれからも改善していきたいと思っています。

品種はアイアンシリーズのホワイト、チェリー、マリン、ピンクを中心に25万本出荷しています。

～MPSに参加して、一番の収穫～

MPSに参加するにあたって生花店の勧めもあり、最初は付加価値になってくれればということしか考えていませんでした。

実際に参加してみると記録など慣れないうちは大変でしたが、使っている農薬と肥料を再考した時に、環境に影響があるということは人間にも影響があるので、消費者は安心して花を買えないということを認識させられました。

MPS取得で期待していた商品の差別化以上に消費者のことを深く考えられることになったことで、生産者が良いと思う花を栽培するだけでなく消費者が求めている花を栽培しようと思えたことがMPS参加の一番の収穫になりました。

これから大事なことは自分たちだけが環境のことについて考えるだけではなく、MPSの良さを市場や小売りを通して消費者まで伝え、全員が環境に対して高い意識を持てるようになり、MPSが当たり前になるように協力できればと思います。



山田滋さん、桂さん



ヤマキ花卉園は、自分たちが中心ではなく、消費者のことを第一に考え消費者から信頼される生産者を目指して頑張りたいと思います。